

本市のデータ



(1)面積 99.07km²

(2)人口 (人)

平成12年	平成17年	平成22年	平25.4.30現在
151,673	153,639	157,060	159,644
65歳以上人口比率			21.5%

(3)世帯数

平成12年	平成17年	平成22年	平25.4.30現在
53,476	56,319	60,268	64,689

(4)産業構造

区分	就業人口	就業人口	就業人口
	平成12年	平成17年	平成22年
1次	2,518人 3.3%	2,419人 3.3%	1,838人 2.5%
2次	27,637人 36.4%	23,505人 32.2%	21,934人 30.0%
3次	45,340人 59.8%	46,471人 63.6%	46,665人 63.9%
計	75,888人	73,067人	73,089人

本市の概要

ひたちなか市は、東京から約110キロメートルの距離にあり、中心は東経140度32分、北緯36度24分で茨城県の中央部からやや北東に位置し、東西約13キロメートル、南北約11キロメートルで99.07平方キロメートルの面積を有している。

西は常磐自動車道の通る那珂市に、北は東海村に、南は那須岳を源流とする那珂川を挟んで県都水戸市と大洗町に接し、東は美しい碧の海の広がる太平洋に面して約13キロメートルの海岸線が続いている。市域は、太平洋と那珂川下流域に位置する海拔7メートル前後の低地地区と阿武隈山系から南東に緩やかに傾斜している那珂台地と呼ばれる海拔約30メートル前後の起伏の少ない平坦な台地地区とに分けられる。低地地区は、漁港を中心に市街地が形成され、那珂川流域は水田地帯となっている。一方、台地地区は、駅を中心に市街地が形成され都市化が進行しているが、周辺は畑地も多く、また、中小河川が市街地にくさび状に入り込み、台地縁辺部は豊かな緑が帯状に連なっている。

気候は、典型的な東日本の太平洋型の気候で、台風などによる自然災害も少ない。年間平均気温は14度、最高気温は36度前後、最低気温はマイナス10度を下回ることはない。降水量は月平均で100ミリメートルを超え、降雪は数えるほどである。

地域は水産加工業を主体とした食品製造関係水産業を基幹として発達してきた。これら既存の産業に加え、ひたちなか地区において常陸那珂工業団地が、また、その隣接地区では第2期山崎工業団地が整備され、企業の立地が進んでおり、今後とも県内有数の先進工業都市として躍進していくことが期待されている。

また、市内に二つの漁港があり、近海沿岸漁業の基地となっている。農業では、干しいもが特産品となっており、日本一の生産量を誇っている。

商業面では、大規模小売店舗の充実などで商圈の地元吸収力が増大している。今後は阿字ヶ浦海水浴場や魚量販店などの資源を存分に活かした観光・レクリエーションの振興を図ることにより、商業を活性化していくことが期待される。

この他、ひたちなか地区では、国営ひたち海浜公園や自動車安全運転センター、テクノセンタービル、大規模商業施設などがオープンしている。

このような拠点開発により、国内外から多くの人、物、情報が交流する国際港湾公園都市を目指している。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

市民一人ひとりが、自殺を身近な問題として捉え、ゲートキーパーとして家族や周囲の人を見守れるような意識を持つために、自殺予防についての知識の普及啓発を図る。また、民生委員や市職員の市民対応強化や関係機関との連携を図り、自殺予防に努める。

<具体的な取組み>

1. 相談事業

心の健康相談

気分が落ち込む、眠れないなど、心の悩みを抱えている方や家族の方を対象に、精神保健福祉士による面接相談を月1回実施。

2. 心の健康づくり講演会

- 平成15年度 演題「ストレス社会と心の健康」
講師 水戸市精神障害者生活支援センターかさほら 小菅 正博 先生
- 平成19年度 演題「若年層のうつ病とその対策」
講師 筑波大学附属病院精神神経科 教授 朝田 隆 先生
- 平成20年度 演題「こころの病の理解と関わる際のポイント」
講師 汐ヶ崎病院 院長 高沢 彰 先生
- 平成21年度 演題「高齢者の心の健康」
講師 茨城県立医療大学 精神科医 山川 百合子 先生
- 平成22年度 演題「うつを知る 気づく 治療する」
講師 アイメンタルクリニック 院長 飯嶋 佳路 先生
- 平成23年度 演題「心の健康増進法」
講師 茨城県立こころの医療センター 院長 土井 永史 先生
- 平成24年度 演題「いのちを守るためにわたしたちにできること」
講師 NPO法人 ライフリンク副代表 根岸 親 先生

3. 啓発活動

- 平成22年度 自殺予防パンフレット「守ろう！大切ないのち」(全戸配布)
- 平成23年度 自殺予防相談窓口カード入りティッシュ配布
自殺予防街頭啓発(平成22年度から)
JR勝田駅前で、保健所職員と共に相談窓口チラシとポケットティッシュを配布し自殺予防、相談窓口のPR。
- 平成24年度 ①9月の自殺予防週間に公民館、市役所、支所、保健センターに自殺予防を呼びかけるのぼり旗を設置。
②3月の自殺予防強化月間に、公民館、市役所、保健センターに自殺予防を呼びかけるのぼり旗を設置。また、市内3ヶ所の図書館には、のぼり旗の他にメンタルヘルス関連の図書やパンフレット・ポケットティッシュ等を置いた特設コーナーを作り、PRを行った。

4. ゲートキーパー研修

民生委員及び市職員を対象に研修会を実施

- 平成23年度 講師 茨城いのちの電話事務局長
- 平成24年度 講師 臨床心理士